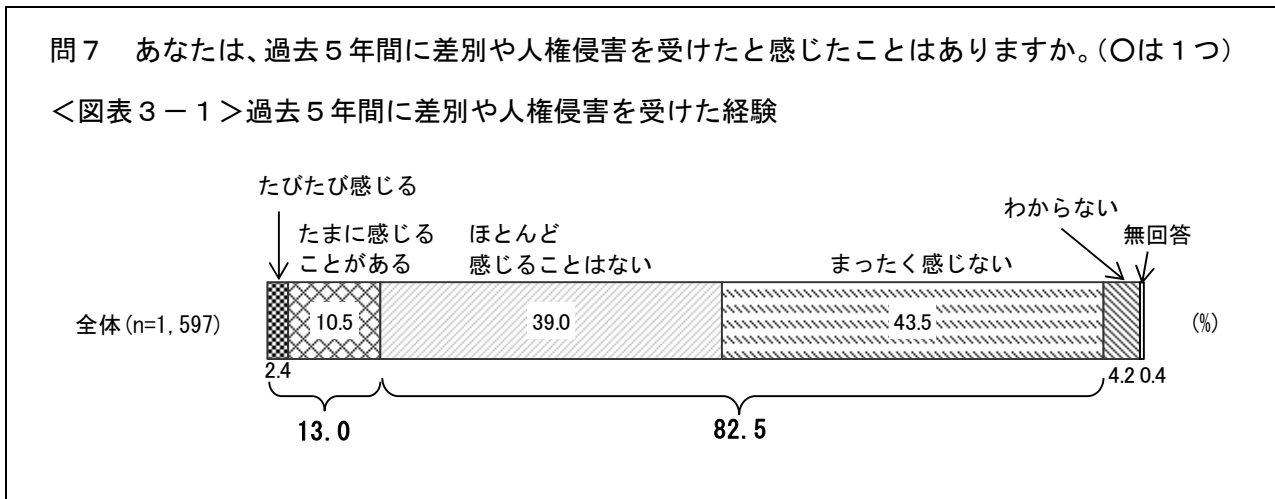


3 人権問題について

(1) 過去 5 年間に差別や人権侵害を受けた経験

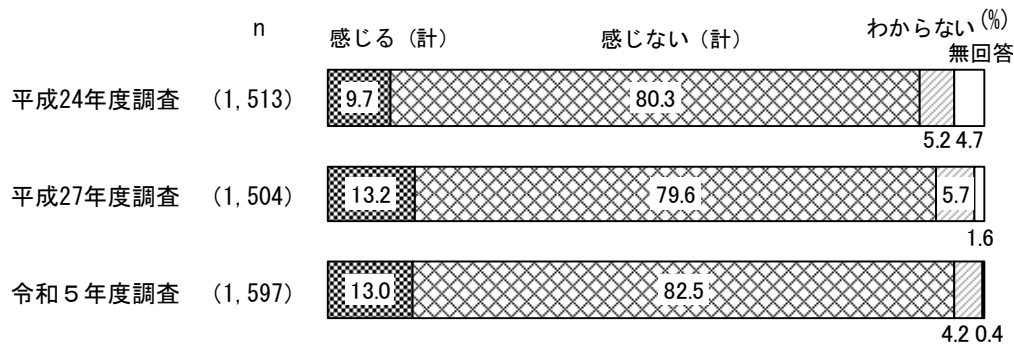
◇『感じる（計）』は 1 割を超える



過去 5 年間に差別や人権侵害を受けた経験を聞いたところ、「時々感じる」(2.4%)と「たまに感じる」(10.5%)を合わせた『感じる(計)』(13.0%)は 1 割を超える。

一方、「ほとんど感じることはない」(39.0%)と「まったく感じない」(43.5%)を合わせた『感じない(計)』(82.5%)は 8 割を超える。(図表 3-1)

【参考】平成 24 年度・27 年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)



【地域別】

地域別にみると、『感じる(計)』は“山武地域”(25.0%)が 2 割台半ばで高くなっている。

(図表 3-2)

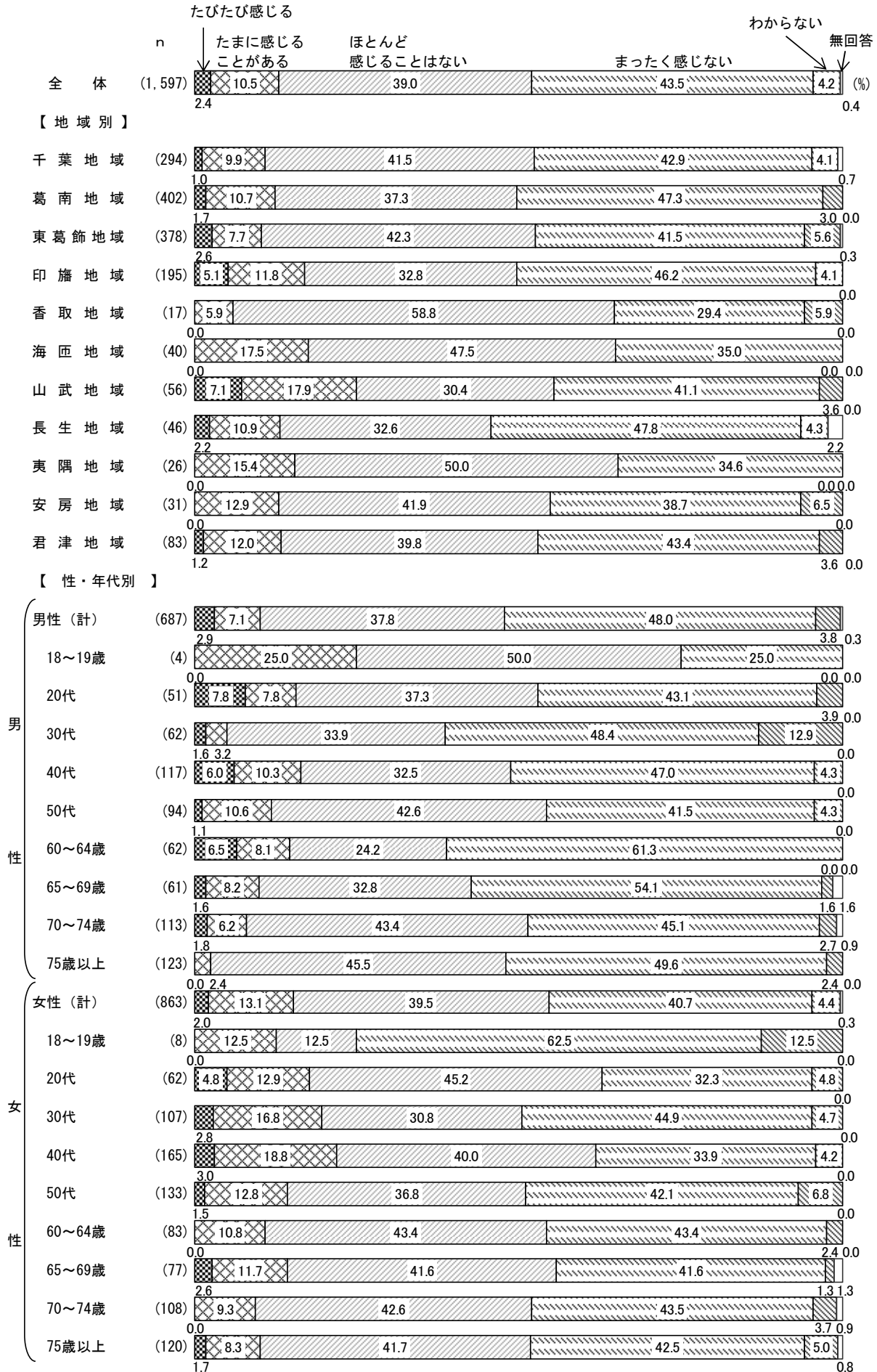
【性・年代別】

性・年代別にみると、『感じる(計)』は、女性の 40 代(21.8%)が 2 割を超え、女性の 30 代(19.6%)が約 2 割で高くなっている。

一方、『感じない(計)』は、男性の 75 歳以上(95.1%)が 9 割台半ばで高くなっている。

(図表 3-2)

<図表3-2>過去5年間に差別や人権侵害を受けた経験／地域別、性・年代別



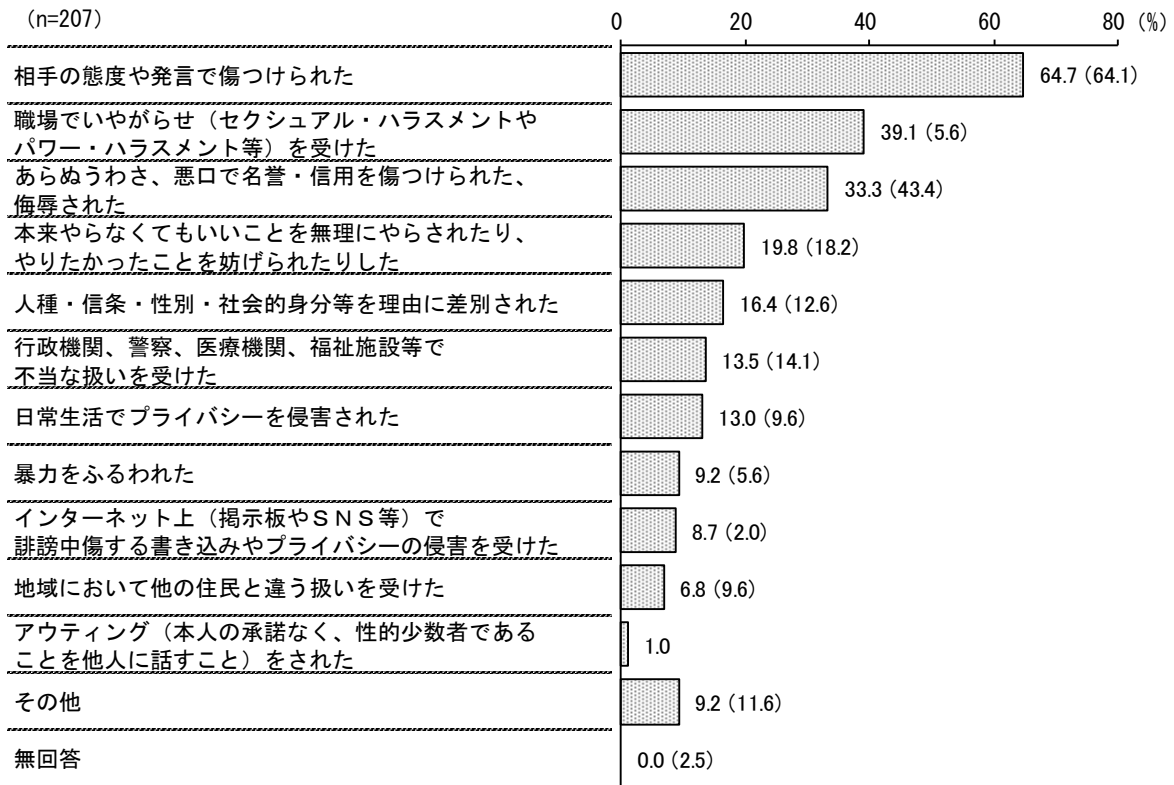
（1－1）差別や人権侵害を受けた内容

◇「相手の態度や発言で傷つけられた」が6割台半ば

（問7で「たびたび感じる」または「たまに感じることもある」とお答えの方に）

問7－1 それはどのような内容ですか。（○はいくつでも）

＜図表3－3＞差別や人権侵害を受けた内容（複数回答）



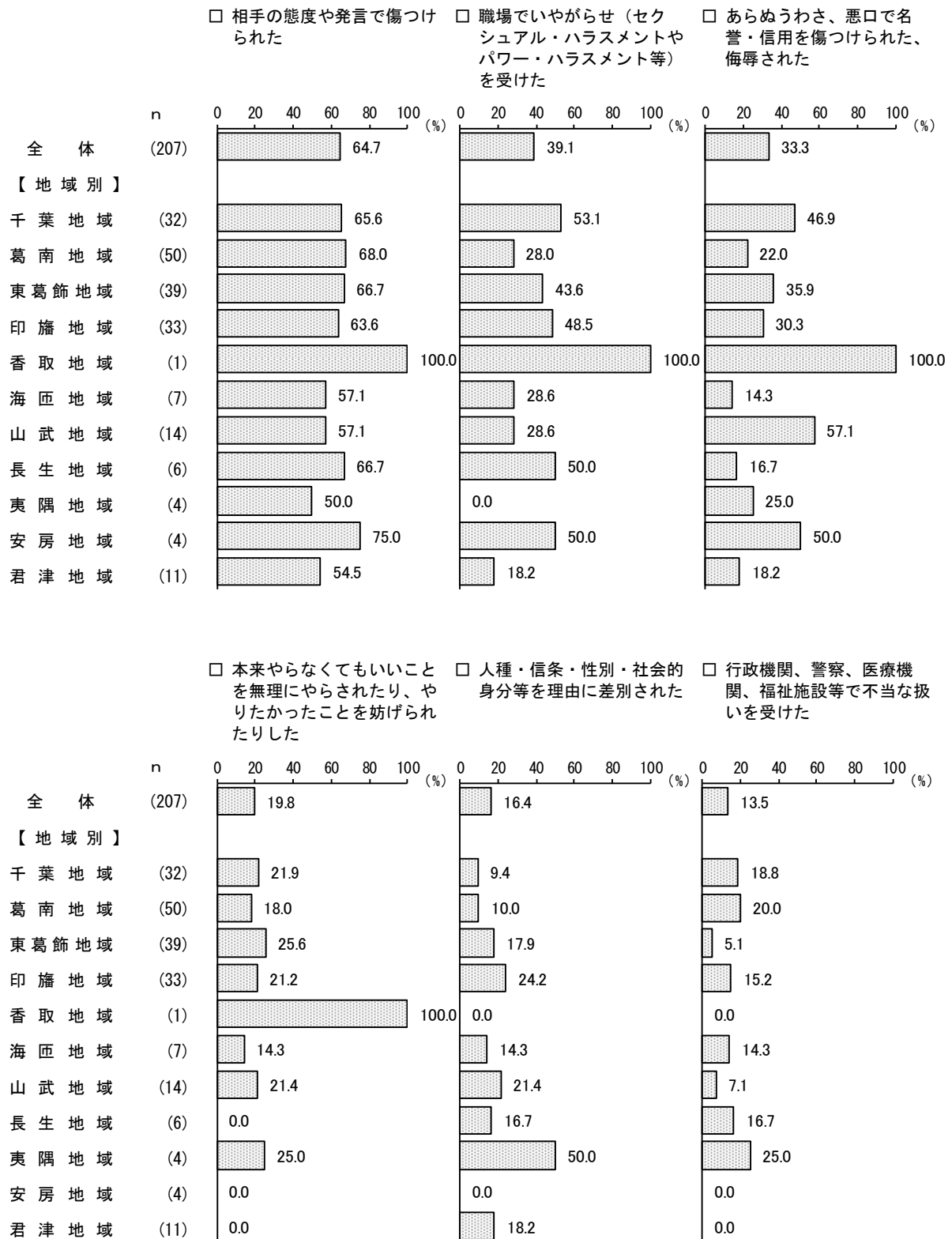
注) () の数字は平成27年度の同様の項目による調査結果 n=198

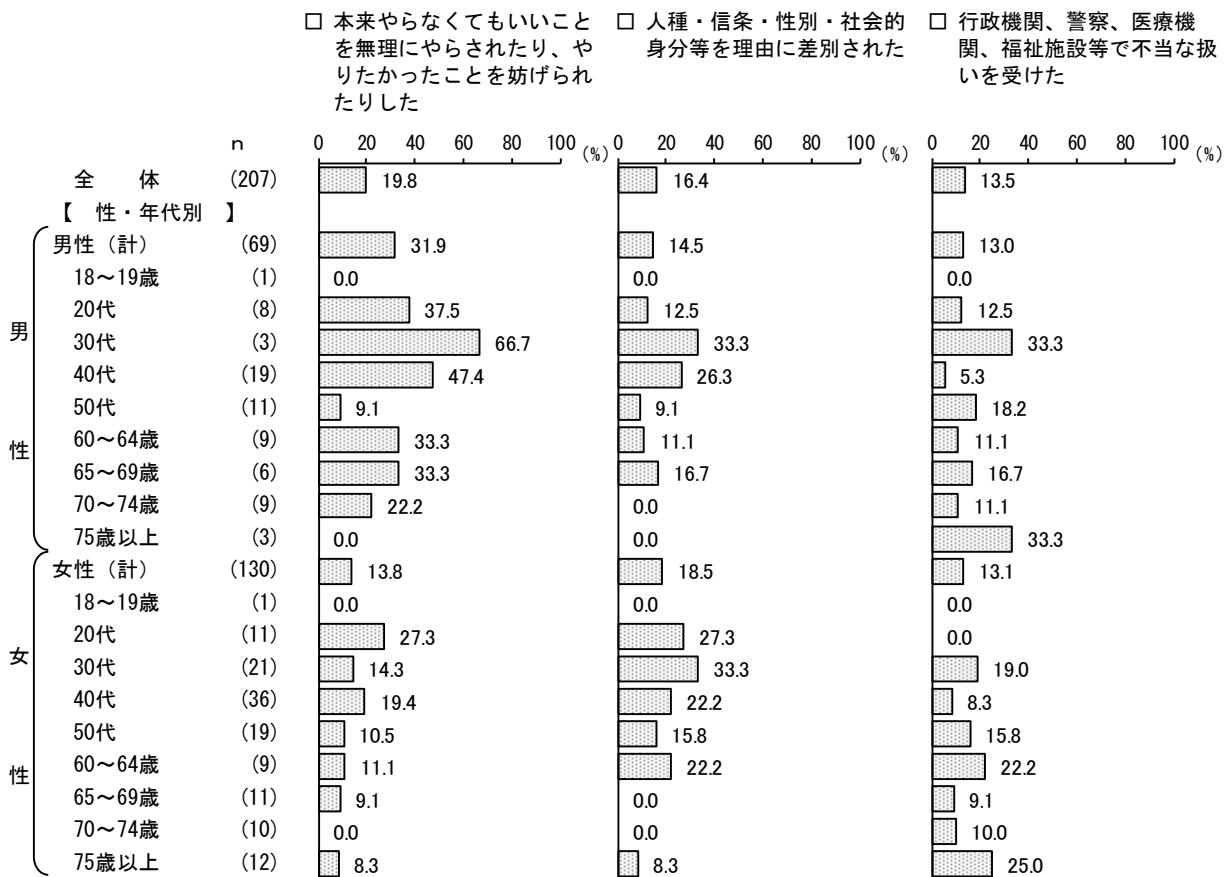
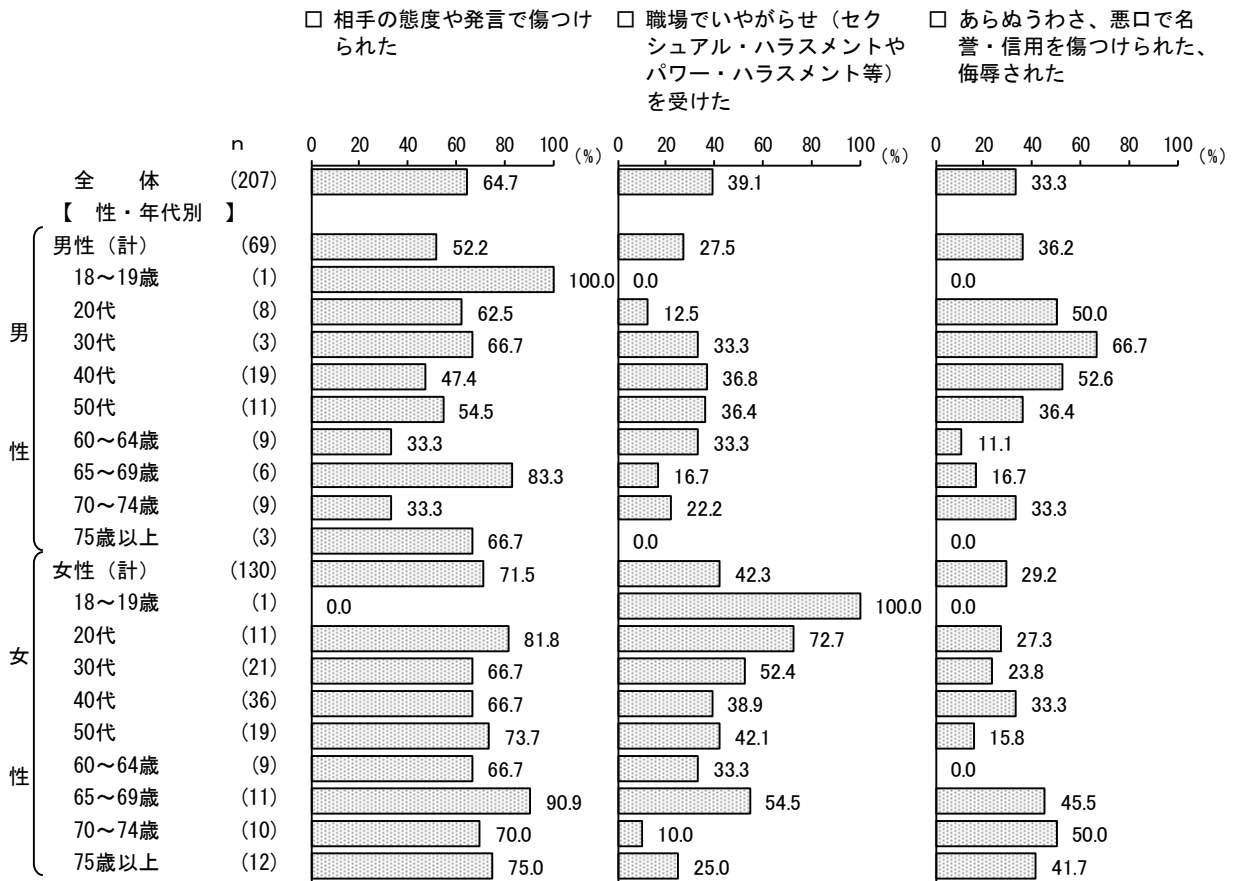
過去5年間に差別や人権侵害を受けたと感じると回答した207人を対象に、どのような内容か聞いたところ、「相手の態度や発言で傷つけられた」（64.7%）が6割台半ばで最も高く、以下「職場でいやがらせ（セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメント等）を受けた」（39.1%）、「あらぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた、侮辱された」（33.3%）が続く。（図表3－3）

※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示するにとどめる。

（9ページ「報告書の見方（5）」を参照）（図表3－4）

[参考] <図表3-4> 差別や人権侵害を受けた内容（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）





（1－2）差別や人権侵害を受けたときの対応

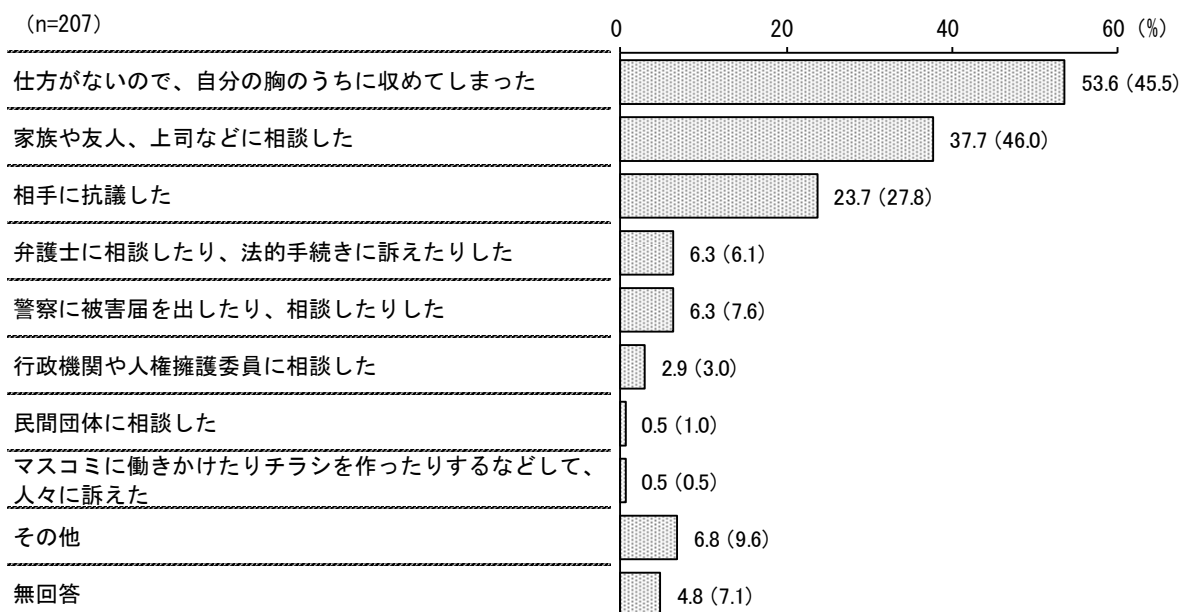
◇「仕方がないので、自分の胸のうちに収めてしまった」が5割台半ば

（引き続き、問7で「たびたび感じる」または「たまに感じることもある」とお答えの方に）

問7－2 あなたは、そのようなとき、どのような対応をしましたか。

（〇はいくつでも）

＜図表3－5＞差別や人権侵害を受けたときの対応（複数回答）



注）（ ）の数字は平成27年度の同様の項目による調査結果 n=198

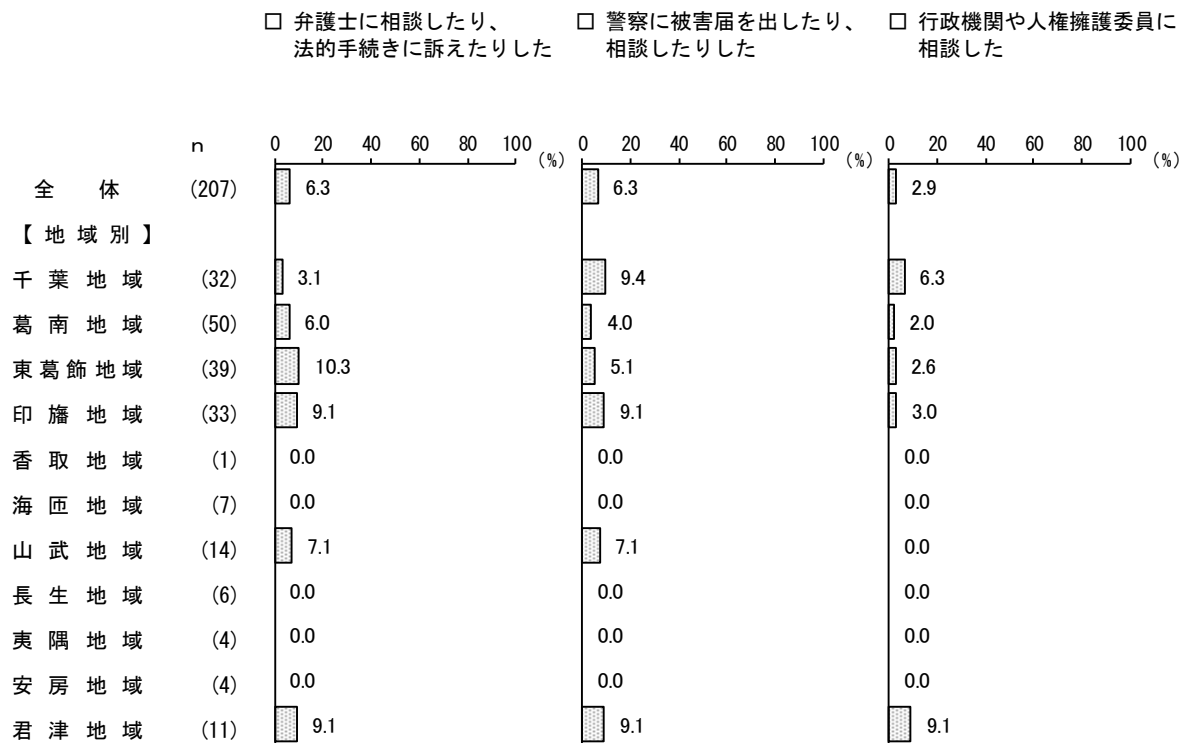
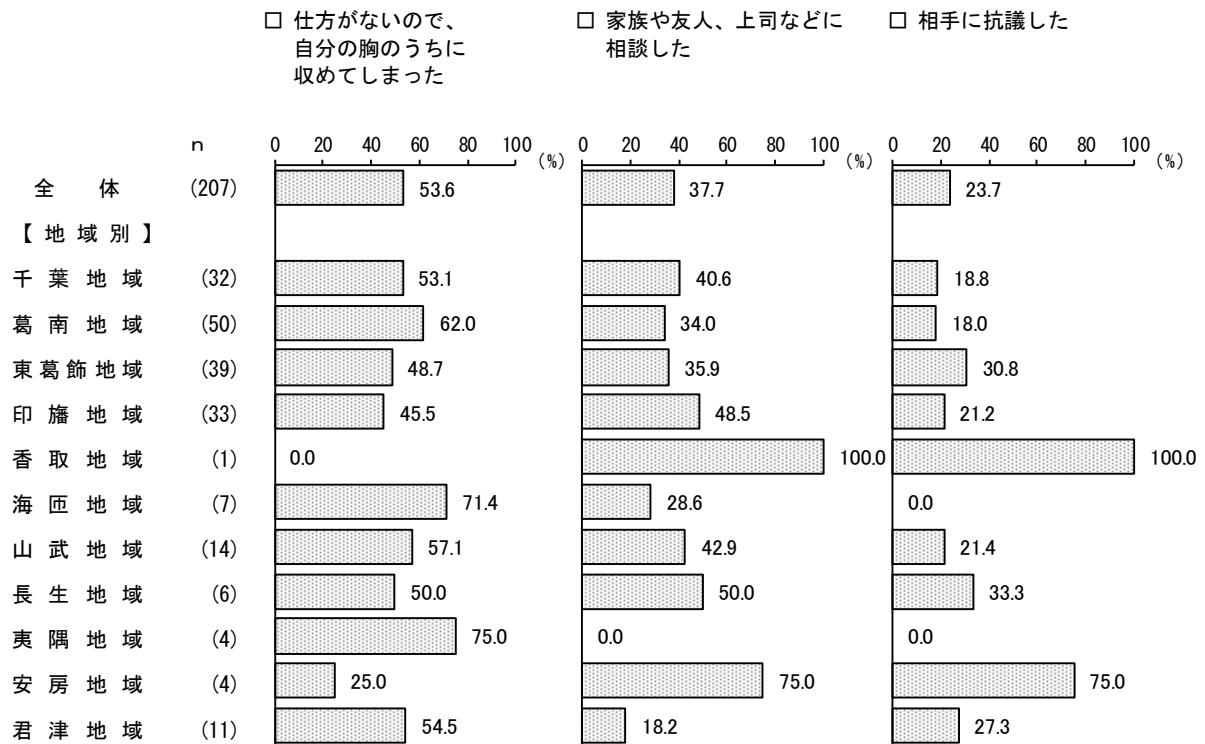
過去5年間に差別や人権侵害を受けたと感じると回答した207人を対象に、差別や人権侵害を受けたときの対応について聞いたところ、「仕方がないので、自分の胸のうちに収めてしまった」（53.6%）が5割台半ばで最も高く、以下「家族や友人、上司などに相談した」（37.7%）、「相手に抗議した」（23.7%）が続く。（図表3－5）

※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示するにとどめる。

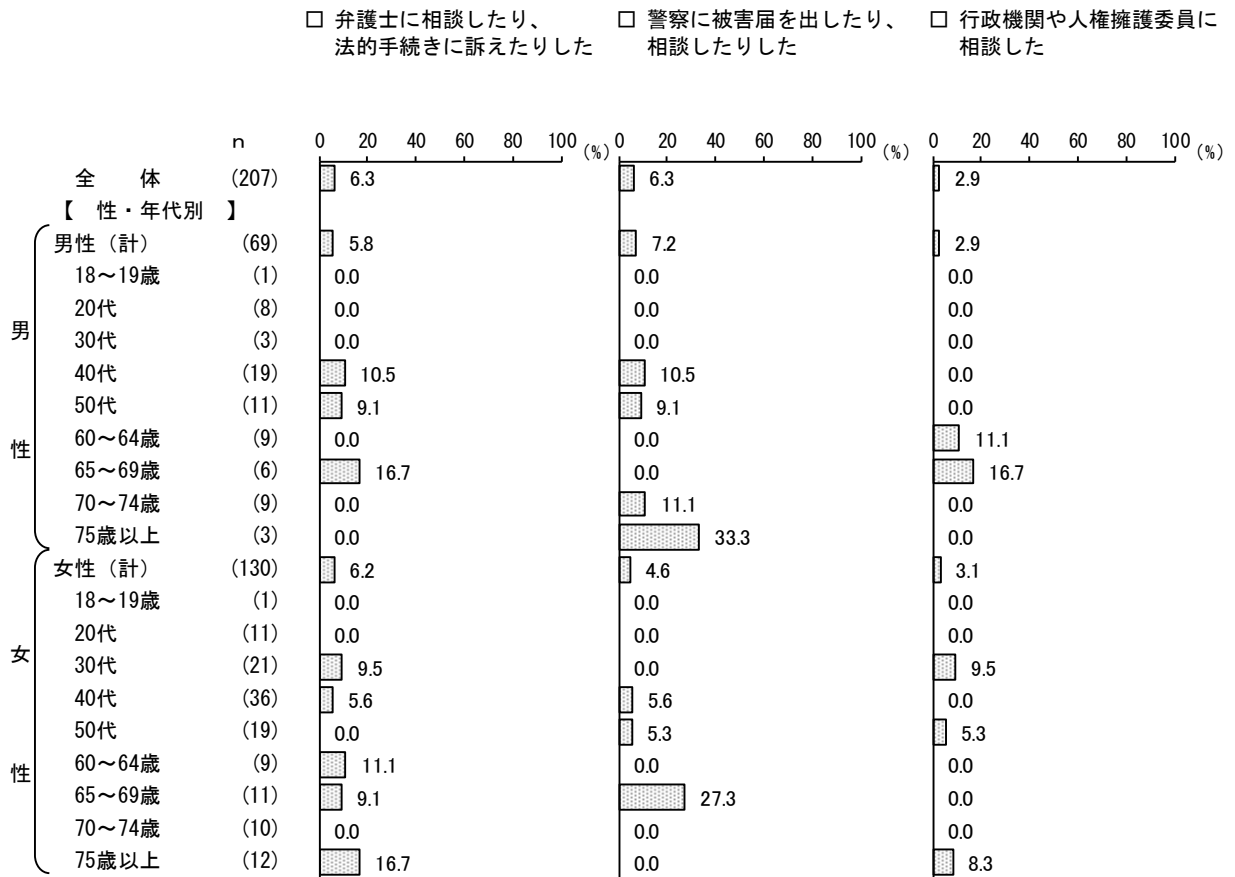
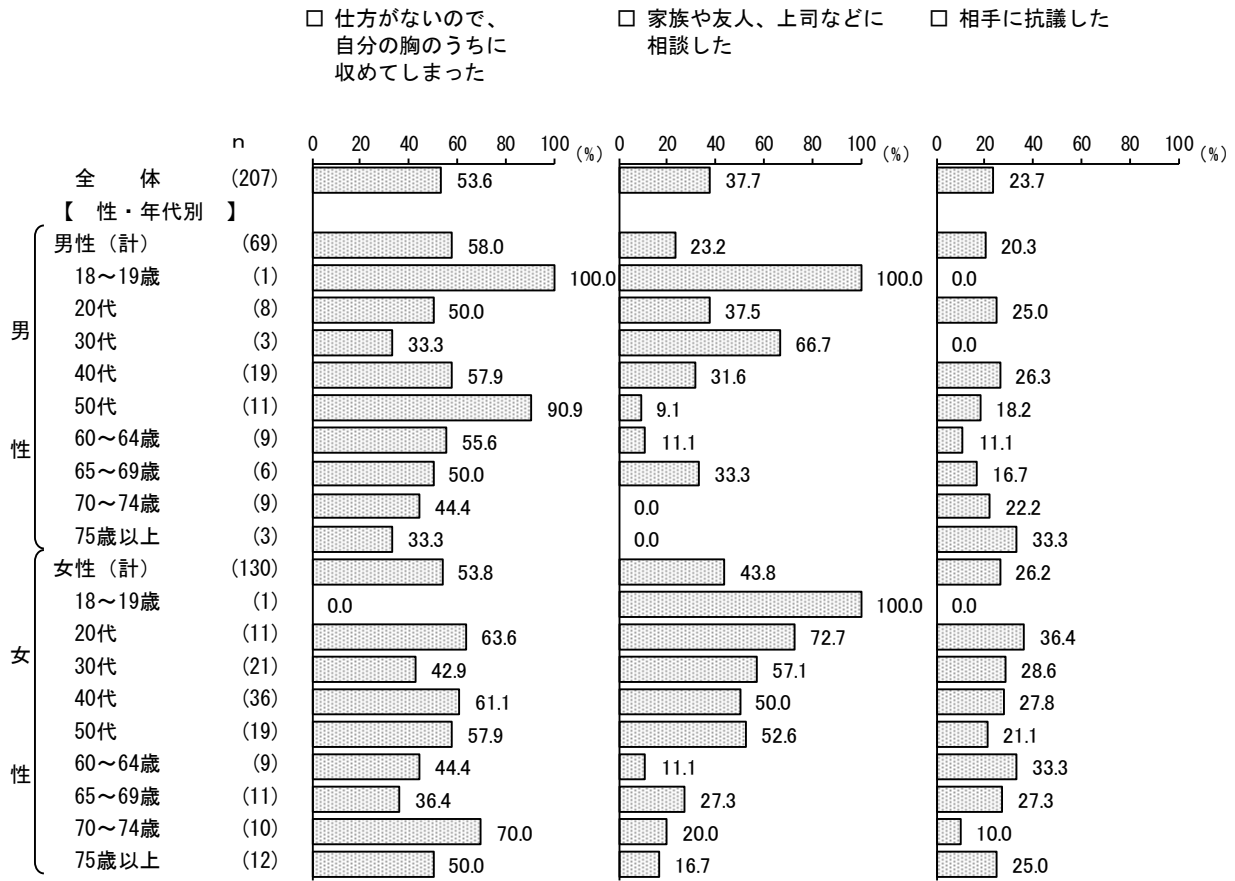
（9ページ「報告書の見方（5）」を参照）（図表3－6）

[参考] <図表 3-6> 差別や人権侵害を受けたときの対応（複数回答）

／地域別、性・年代別（上位 6 項目）



第66回県政に関する世論調査（R5年度）



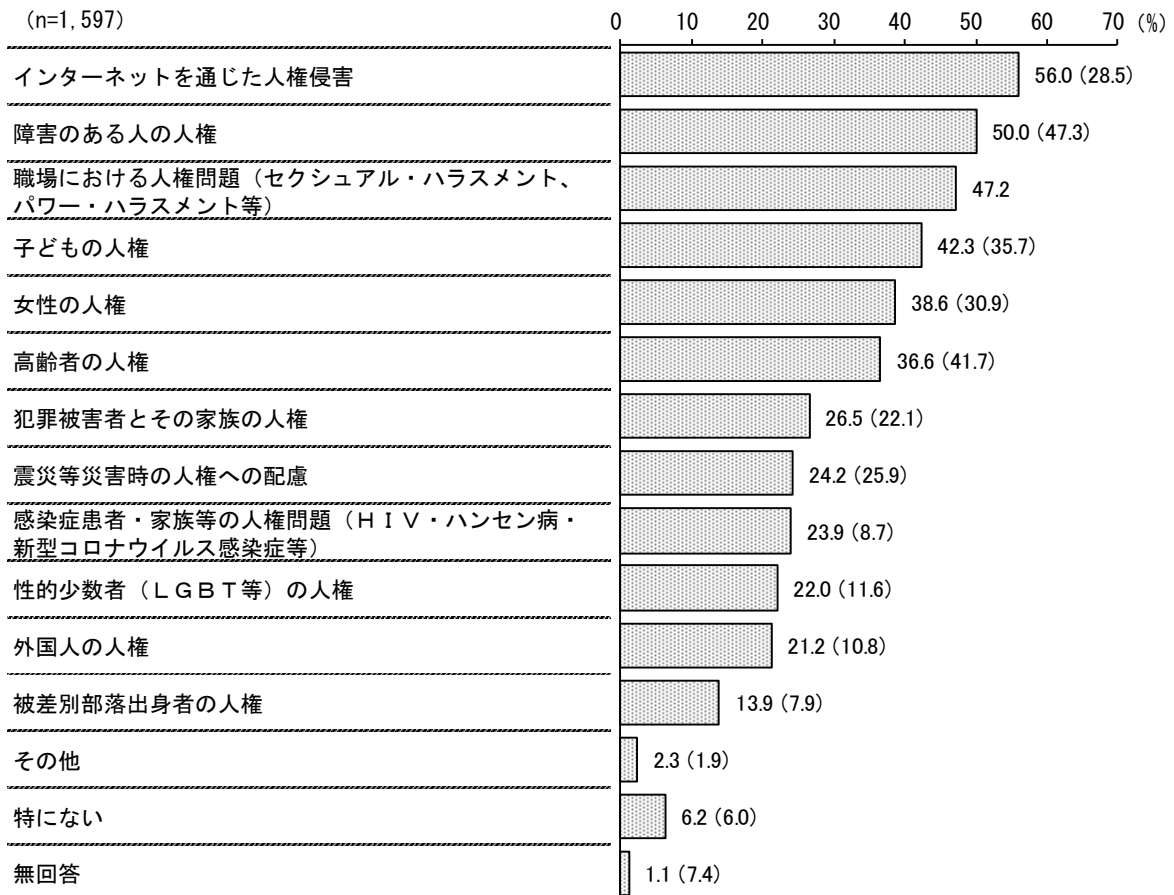
（2）人権問題の解決のための啓発で力を入れるべきもの

◇「インターネットを通じた人権侵害」が5割台半ば

問 8 千葉県では、さまざまな人権問題について、その解決のための啓発に取り組んでいます。あなたは、今後、どの問題について今まで以上に啓発すべきと思いますか。

（○はいくつでも）

<図表 3-7> 人権問題の解決のための啓発で力を入れるべきもの（複数回答）



注) () の数字は平成27年度の同様の項目による調査結果 n=1,504

※「職場における人権問題（セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等）」は今回調査から追加

人権問題の解決のための啓発で力を入れるべきものについて聞いたところ、「インターネットを通じた人権侵害」（56.0%）が5割台半ばで最も高く、以下「障害のある人の人権」（50.0%）、「職場における人権問題（セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等）」（47.2%）、「子どもの人権」（42.3%）が続く。（図表 3-7）

【地域別】

地域別にみると、「女性の人権」は“葛南地域”（43.0%）が4割を超えて高くなっている。

（図表 3-8）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「インターネットを通じた人権侵害」は、女性の40代（64.2%）が6割台半ばで高くなっている。

「障害のある人の人権」は、男性の65～69歳（72.1%）が7割を超え、女性の75歳以上（60.0%）

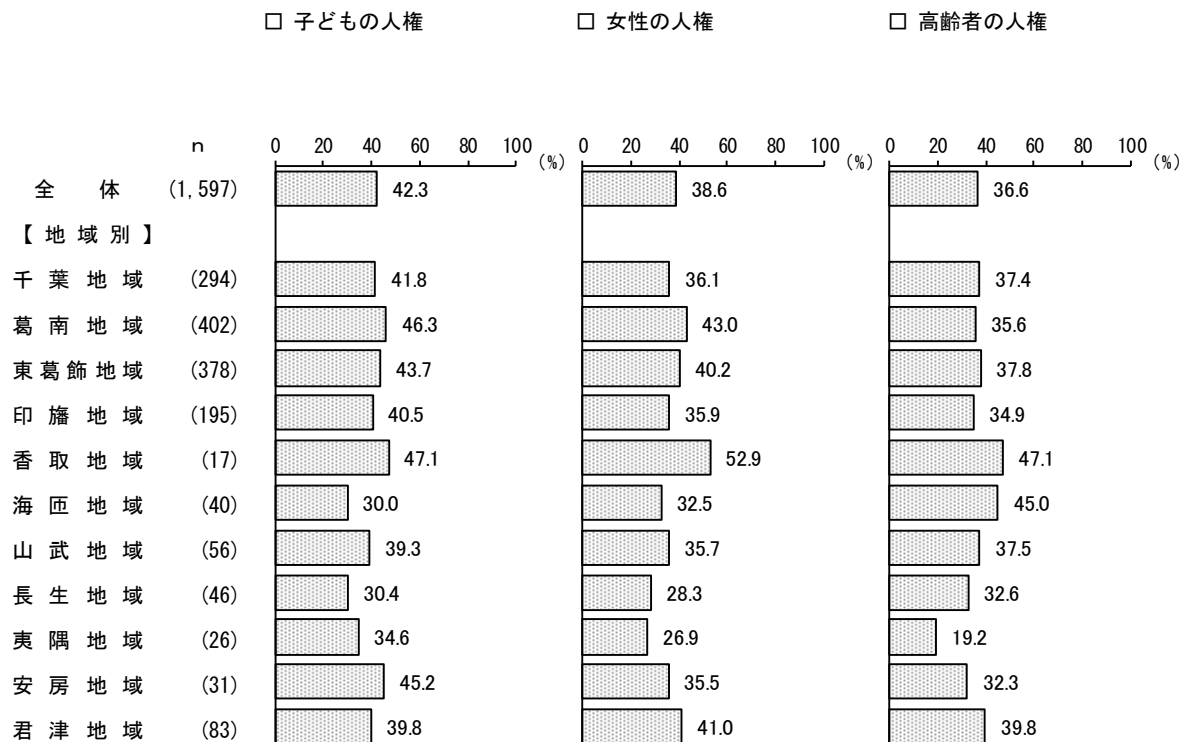
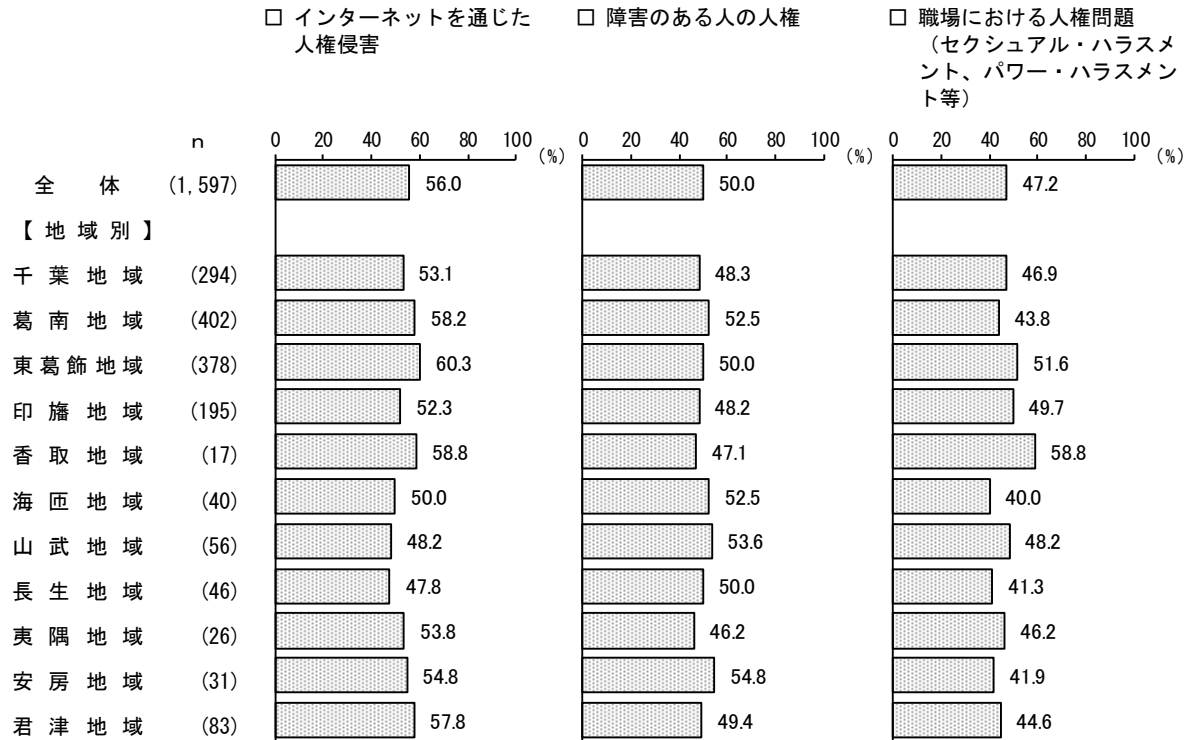
が6割で高くなっている。

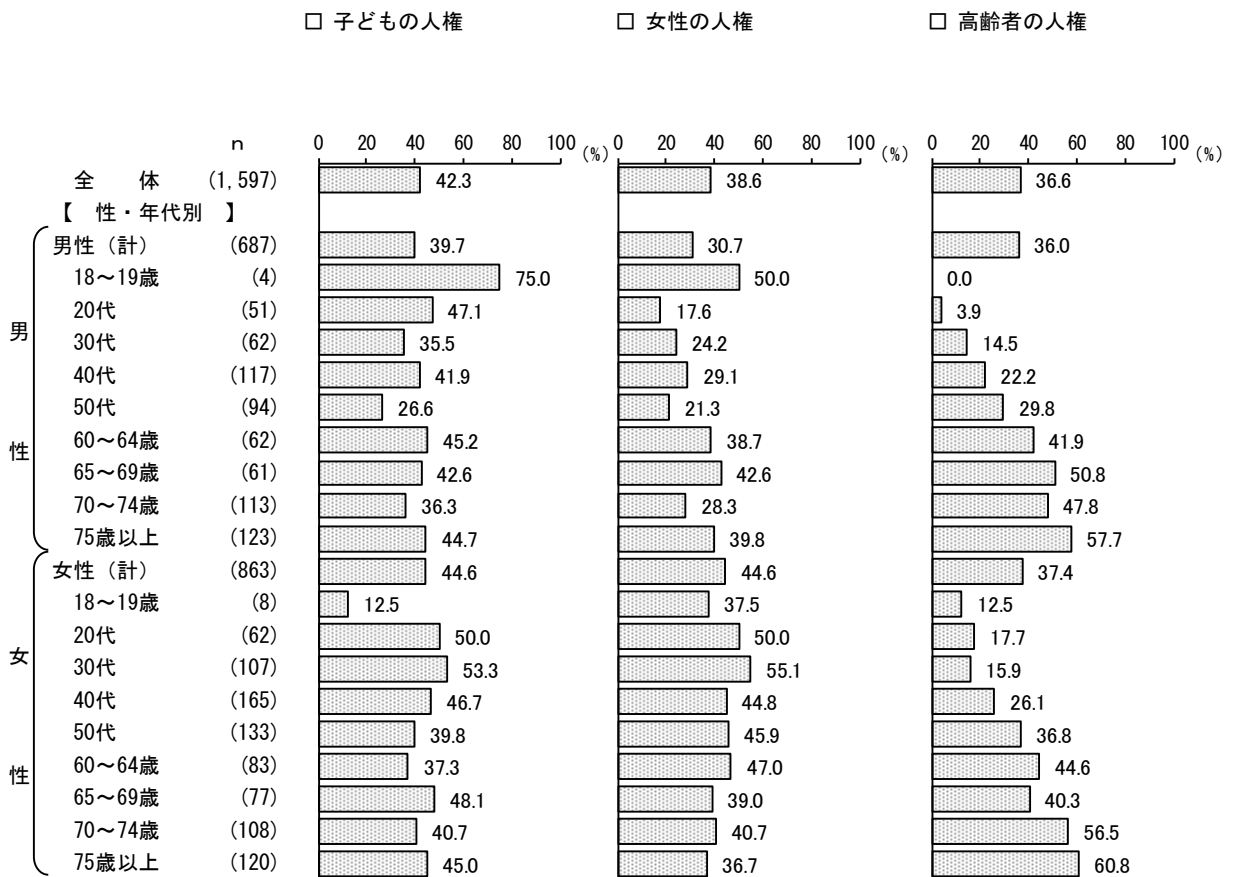
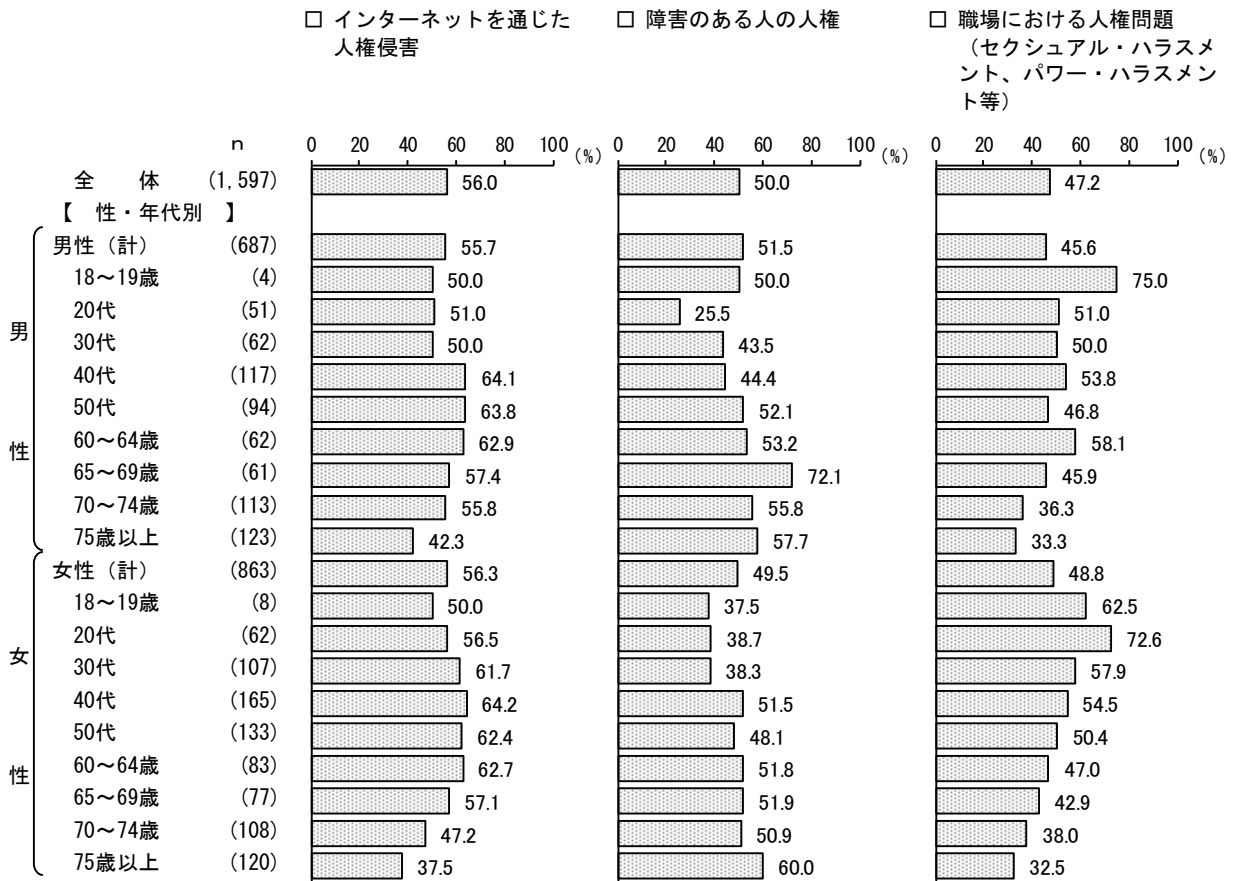
「職場における人権問題（セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等）」は、女性の20代（72.6%）が7割を超え、女性の30代（57.9%）が約6割、女性の40代（54.5%）が5割台半ばで高くなっている。

「子どもの人権」は、女性の30代（53.3%）が5割を超えて高くなっている。（図表3-8）

＜図表3-8＞人権問題の解決のための啓発で力を入れるべきもの（複数回答）

／地域別、性・年代別（上位6項目）



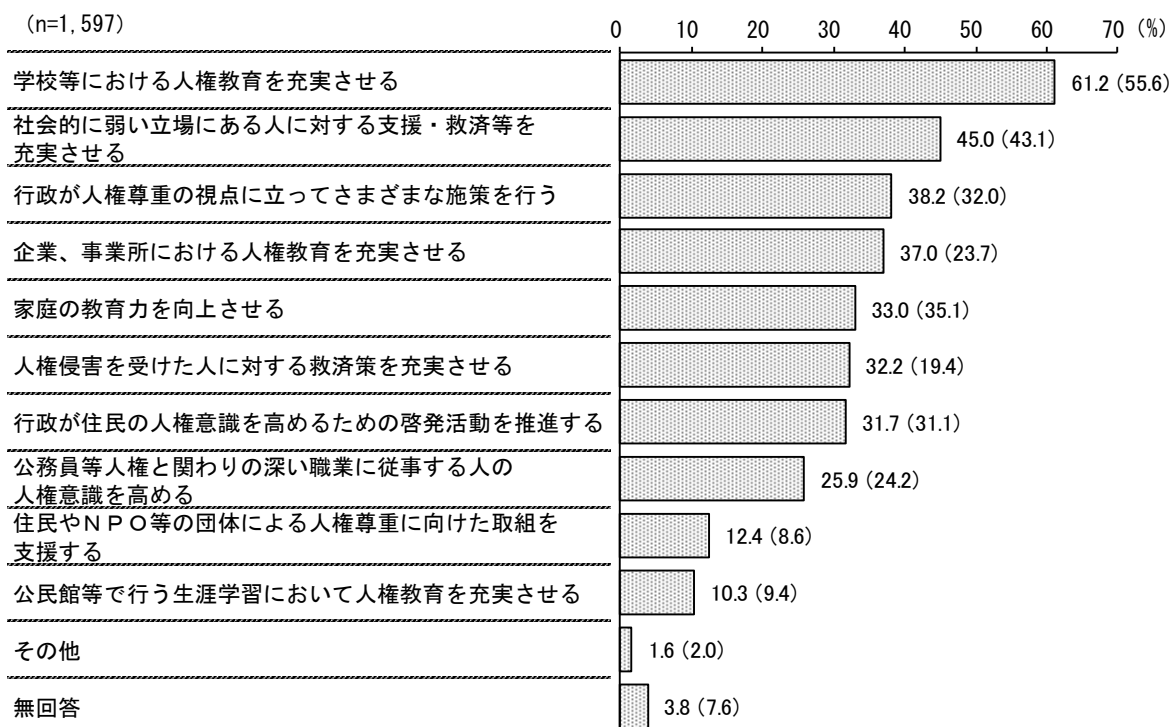


（3）人権が尊重される社会を実現するための県の取り組み

◇「学校等における人権教育を充実させる」が6割を超える

問9 あなたは、人権が尊重される社会を実現するために、今後、千葉県においてどのような取組が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

<図表3-9>人権が尊重される社会を実現するための県の取り組み（複数回答）



注) () の数字は平成27年度の同様の項目による調査結果 n = 1,504

人権が尊重される社会を実現するための県の取り組みについて聞いたところ、「学校等における人権教育を充実させる」(61.2%)が6割を超えて最も高く、以下「社会的に弱い立場にある人に対する支援・救済等を充実させる」(45.0%)、「行政が人権尊重の視点に立ってさまざまな施策を行う」(38.2%)、「企業、事業所における人権教育を充実させる」(37.0%)が続く。(図表3-9)

【地域別】

地域別にみると、「学校等における人権教育を充実させる」は“葛南地域”(66.2%)が6割台半ばで高くなっている。

「行政が人権尊重の視点に立ってさまざまな施策を行う」は“千葉地域”(44.9%)が4割台半ばで高くなっている。(図表3-10)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「学校等における人権教育を充実させる」は、男性の75歳以上(71.5%)が7割を超えて高くなっている。

「社会的に弱い立場にある人に対する支援・救済等を充実させる」は、女性の75歳以上(61.7%)が6割を超え、女性の65～69歳(57.1%)が約6割で高くなっている。

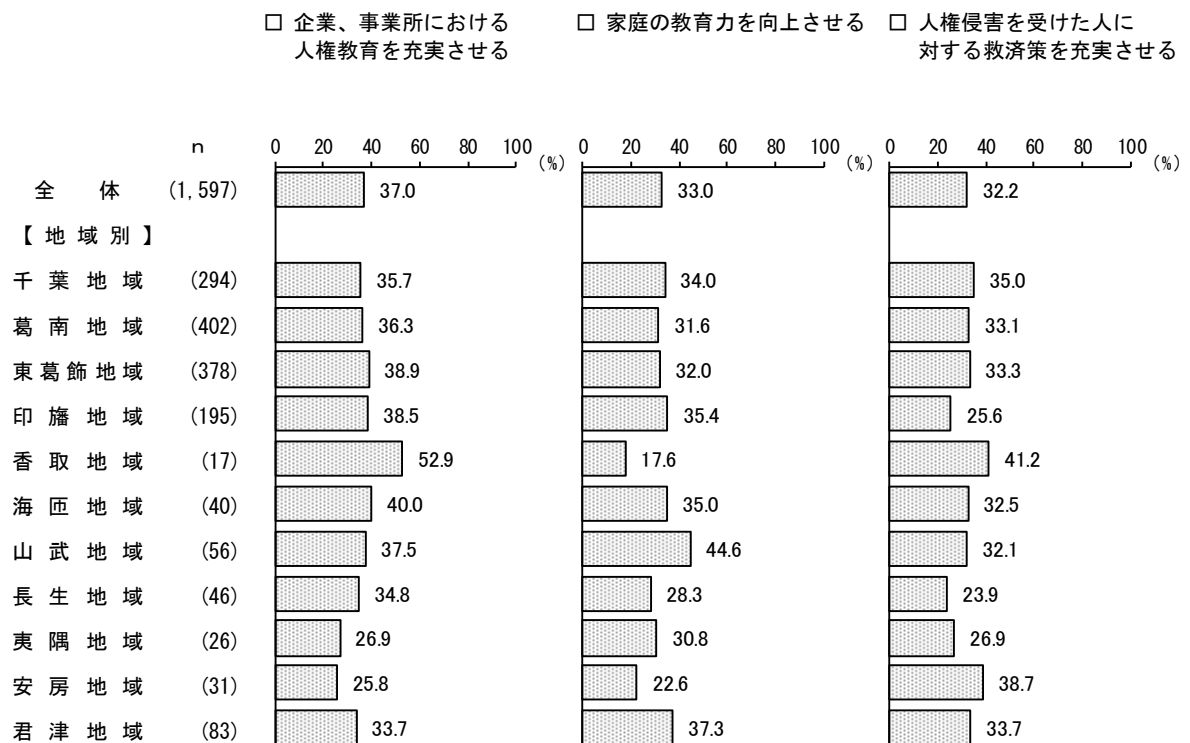
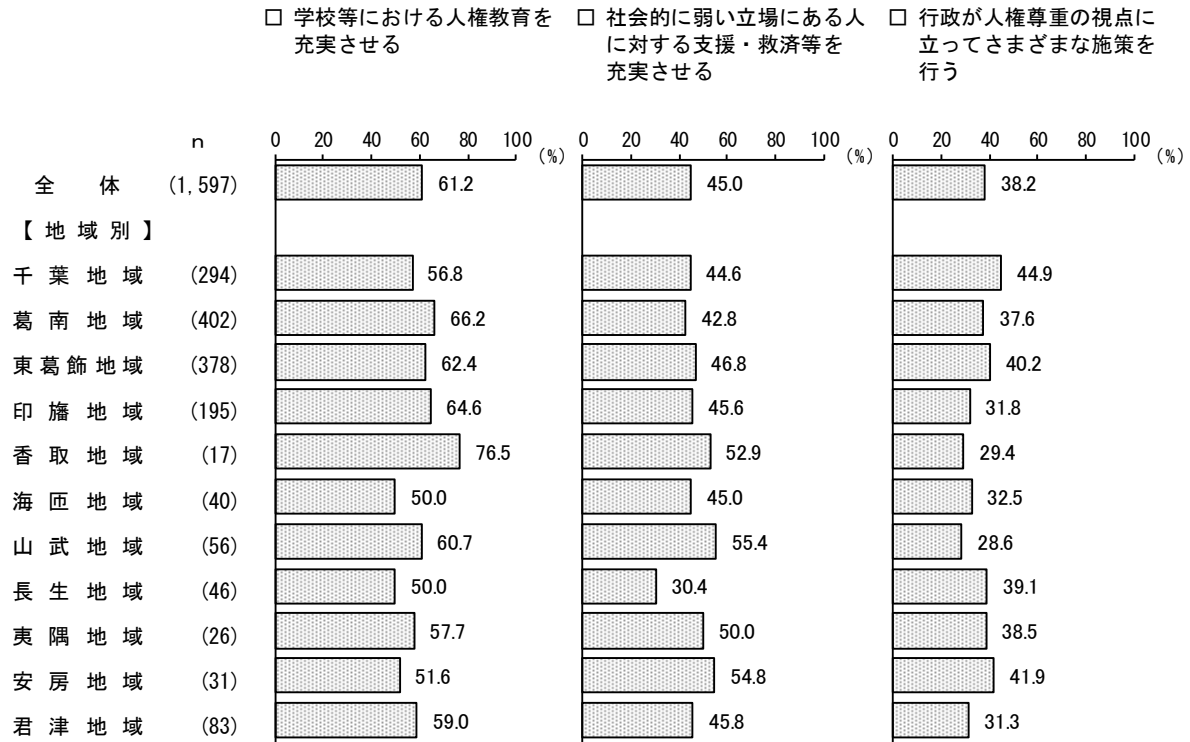
「行政が人権尊重の視点に立ってさまざまな施策を行う」は、男性の65～69歳(50.8%)が5割、

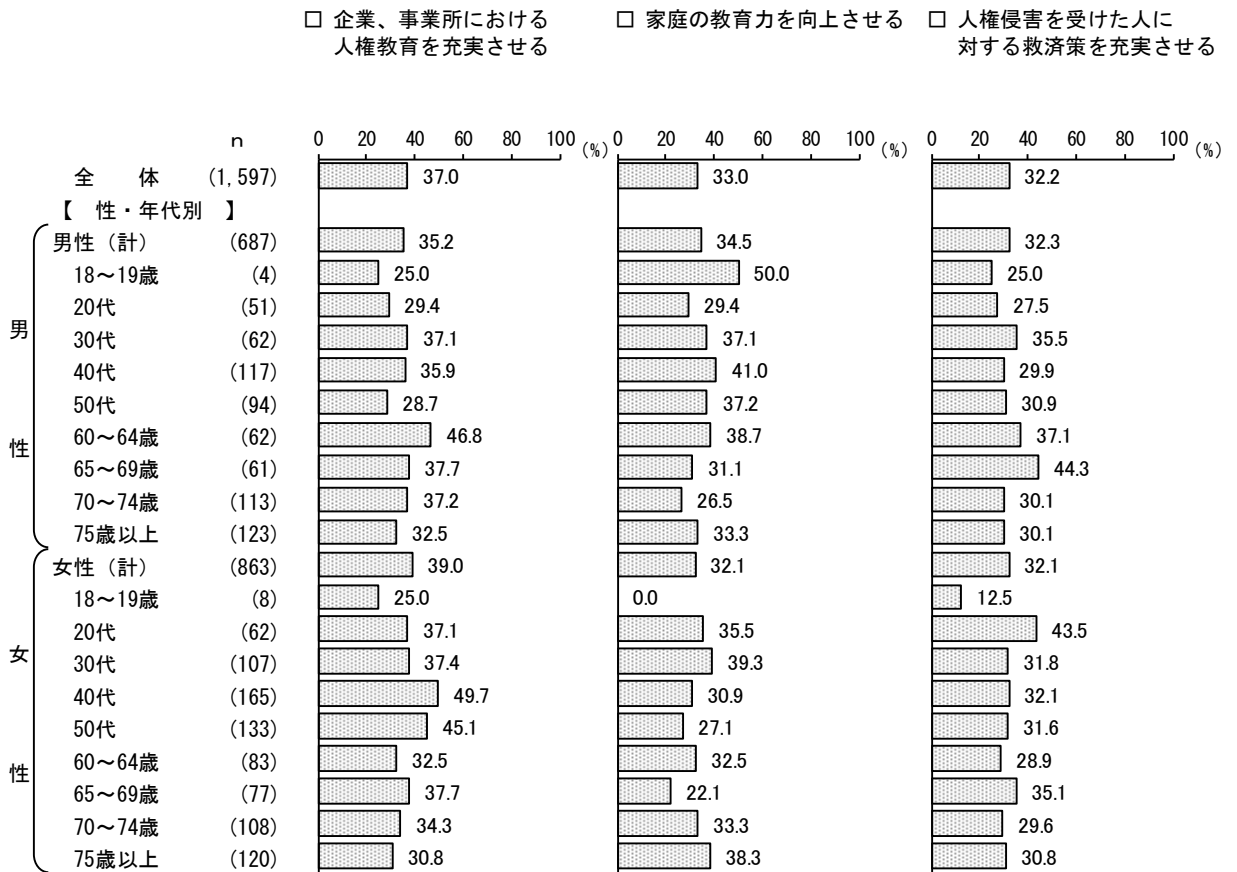
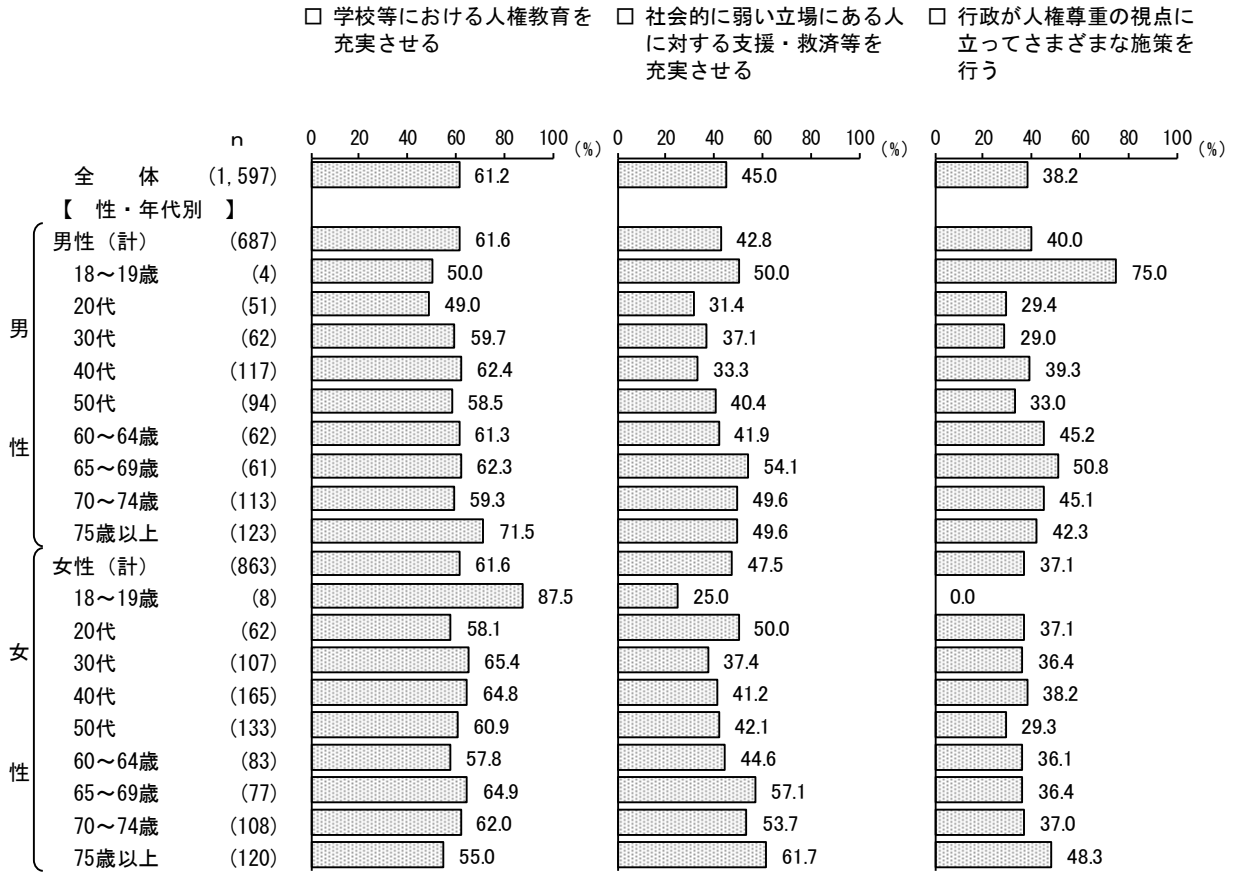
女性の75歳以上（48.3%）が約5割で高くなっている。

「企業、事業所における人権教育を充実させる」は、女性の40代（49.7%）が約5割、女性の50代（45.1%）が4割台半ばで高くなっている。（図表3-10）

＜図表3-10＞人権が尊重される社会を実現するための県の取り組み（複数回答）

／地域別、性・年代別（上位6項目）





このほかにも、「人権問題について」や問 7～問 9 について、ご意見やご提案があれば自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、173人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「人権問題について」の自由回答（抜粋）

- 偏見をなくすことは難しいと思います。お互いを尊重する気持ちは大事です。知らないことを知る教育は助けになると思います。
(男性、60～64歳、東葛飾地域)
- 女性の人権尊重に対する施策が急務だと思う。まず政府、自治体が行なうことは女性の議員を一定数増やすこと。そうすれば女性の視点での政治が行なわれ、人権問題の解決にもつながると思う。硬直した男性の視点では人権問題の解決は進まない。(女性、75歳以上、東葛飾地域)
- 北海道内の小学校ではアイヌについて、就職先（大阪の企業）では定期的に同和問題について学ぶ機会に恵まれ、人権問題に目を向ける良いきっかけとなりました。啓発と教育、そしてこれに携わる人の意識向上が人権尊重と支援・救済の基礎になると考えます。
(女性、40代、葛南地域)
- 被害者支援、カウンセリングも必要だと思いますが、日本で最も足りないものは加害者へのカウンセリングではないかと思います。「いじめ」についてですが、加害者が少しの説教だけでその後普通の生活をしているのはどうかと思う。
(性別回答しない、40代、葛南地域)
- 特にインターネット上での誹謗中傷や風評被害に対しては、罰則を強化して対策をしてほしい。
(男性、70～74歳、君津地域)
- 人権問題については、子供のころから家庭や学校などで教育していくことが必要だと思います。もちろん、大人もしっかり理解できていないといけませんので、何かイベントを通じて知るきっかけ作りがあってもいいと思います。
(男性、50代、葛南地域)
- 人権については、教育が全てと感じます。受け身で行政に対応を任せて、特殊なイベントとして扱うのではなく、自発的に自分事として考えられる機会を日常の場面で増やす。その教育を日常の生活の中に組み込んでいくことが効果的と考えます。
(女性、40代、東葛飾地域)
- 人権について、何が侵害に当たるのか、責任を持つべき人が誰なのかがわからない人が増えていると思います。日常生活の中で当たり前のこととして理解してもらい取り組みを進めるべきだと思います。
(男性、70～74歳、葛南地域)
- 障害のある人はいつも特別な目で見られがちだと思う。車椅子の人が入れるカフェ、レストランが少ない。バリアフリー施設を増やしていけたら、もっと住みやすくなるかなと思う。入れないから諦めている人沢山いるので県で補助できると、もっと住みやすい県になるのではないかなと思う。
(女性、20代、千葉地域)